

事務事業評価シート

H27(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	環境産業部
	06019-1	市単土地改良事業	室名	農政室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	04:自然との共生	務	款 農林水産費
	施策の方向	02:森林・里山・農地の保全	科	項 農林水産費
戦略プロジェクト		目	目 農地費	

② 目的・概要	対象	土地改良区、営農組織、農業者による団体
	目的	老朽化した施設改良や未整備地区の施設整備により、農業施設の延命化や管理の省力化を図り、農地の保全を行う。
	概要	農業用施設の整備工事及び地域が行う農業用施設整備工事の支援を行う。 高速道路にかかる農道橋の橋梁点検実施。

			27年度	28年度
①	名称	工事件数	計画値	
	補足		実績値	10
			単位	件
②	名称	土地改良事業補助金件数	計画値	
	補足		実績値	40
			単位	件
③	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	
④	名称		計画値	
	補足		実績値	
			単位	

年度計画				年度実績				
				市単土地改良事業工事件数 10件 土地改良事業補助金件数 40件 原材料支給件数 64件 設計等委託料 4件				
④ 事業の計画・実績	事業費		計画額	予算額	決算額	総人件費 ①	3,034	平均給与額×③
		事業費		50,328	45,704	一般職員人件費 ②	3,034	
		国庫支出金				所要人員 ③	0.40	
		県支出金				臨時職員人件費 ④	0	
		地方債				受益者負担額 ⑤	1,049	
		その他				受益者負担率	2.2%	⑤ / ⑥
		一般財源		50,328	45,704			
		再掲	翌年度への繰越額					
			前年度からの繰越額					
			総人件費		①	3,034		
	総コスト		⑥	48,738				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	土地改良事業補助金や材料支給の活用により受益者自らが利用状況に応じた農業用施設の整備や修繕を行うことにより施設の維持管理費の軽減と施設の延命化が図れた。 また、伊勢自動車道に掛かる橋梁点検については、緊急に補修を要するものがなかった。	総合判定
	【反省点・課題】	地元からの整備要望を受け計画的に整備すると共に、整備費用のコスト縮減を図っていく必要がある。 橋梁点検については、定期的を実施していく必要がある。	A 順調に進んだ
	【改善の方向性】	整備手法や整備内容を地元協議の上、更なる整備費用のコスト縮減を図る。 また、市道橋の橋梁点検と一緒に検討していく。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 農政室長 宮崎 哲二